

|| 企業調査レポート ||

## ソフト 99 コーポレーション

4464 東証 2 部

[企業情報はこちら >>>](#)

2019 年 12 月 19 日 (木)

執筆：客員アナリスト

**佐藤 譲**

FISCO Ltd. Analyst **Yuzuru Sato**



FISCO Ltd.

<http://www.fisco.co.jp>

## 2020 年 3 月期第 2 四半期累計業績は減収増益となり、利益は会社計画を上回る

### 1. 2020 年 3 月期第 2 四半期累計業績

ソフト 99 コーポレーション <4464> の 2020 年 3 月期第 2 四半期累計の連結業績は、売上高が前年同期比 1.0% 減の 12,165 百万円と微減収となったものの、営業利益が同 10.1% 増の 1,257 百万円、経常利益が同 9.0% 増の 1,335 百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益が同 12.3% 増の 933 百万円といずれも増益となった。主力のファインケミカル部門が価格改定の効果もあって増収増益となったが、他部門のマイナス分をカバーしきれず、全体では減収。売上総利益率は価格改定及び販売構成比の変化により前年同期比 1.7 ポイント上昇した。会社計画比では売上総利益の増加に加えて販促費、消耗品費の予算未消化分が上振れ要因となっている。

事業セグメント別の業績を見ると、ファインケミカル事業は売上高で前年同期比 0.8% 増の 6,142 百万円、営業利益で同 23.1% 増の 738 百万円となった。国内自動車販売が堅調に推移し、また、タイヤの 10 月からの値上げ告知の影響もあってカー用品専門店の来店者数が前年同期を上回る水準で推移するなど、市場環境は良好だった。主要カテゴリーの増収率を見ると、一般用ボディケア製品が新製品の伸長により前年同期比 8.2% 増、ガラスケア製品が既存製品の販売拡大によって同 4.0% 増とそれぞれ順調に伸長した。また、海外市場向けも前期に化学品規制の影響で一時的に落ち込んでいた欧州向けが復活し、同 6.9% 増と増収に転じたほか、TPMS（タイヤ空気圧監視装置）が乗用車向け OEM 供給の開始により同 57.5% 増と急成長した。金額では 101 百万円とまだ小さいものの、安全意識の高まりを背景に今後の成長が期待できる分野として注目される。一方、一般用リペアグッズが同 6.2% 減となったほか、業務用製品が前年同期に輸入車ディーラー向けにワイパーのまとめ発注があった反動で同 3.5% 減となった。また、2018 年 3 月より子会社化した電子機器・ソフトウェア開発会社の（株）ハネロンも、開発案件の納期が下期にずれ込んだ影響で同 14.3% 減と低調に推移した。利益面では、前期に原材料上昇に伴い実施した価格改定の効果が大きく、売上総利益率で前年同期比 2.3 ポイント上昇し、増益要因となった。

ポーラスマテリアル事業の売上高は前年同期比 4.4% 減の 2,769 百万円、営業利益は同 0.7% 減の 355 百万円となった。売上高は生活資材が国内で自動車用製品や家庭用スポンジの需要が好調だったことにより、同 2.2% 増と堅調に推移したものの、半導体や HDD 製造用の精密洗浄材を主力とする産業資材が市場環境の悪化を背景に、同 6.9% 減と低調に推移したことで減収となった。ただ、半導体の中でも付加価値の高い最先端品については台湾大手を中心に売上が拡大しており、同部門の売上総利益率も前年同期比 2.5 ポイント上昇し、売上総利益ベースでは同 3.5% 増益となった。営業利益の減益要因は新製品・新規用途開拓のための研究開発費の増加によるものとなっている。

ソフト 99 コーポレーション

4464 東証 2 部

2019 年 12 月 19 日 (木)

<https://www.soft99.co.jp/ir/>

サービス事業の売上高は前年同期比 1.3% 減の 2,540 百万円、営業利益は同 32.0% 減の 47 百万円となった。自動車教習事業については高齢者講習が好調だったこともあり増収増益となったものの、自動車整備・钣金事業が前年の災害特需の反動減により減収減益となったほか、生活用品企画販売事業も主力の生協向け販売の落ち込みにより減収減益となった。また、不動産関連事業の売上高は同 0.7% 減の 712 百万円、営業利益は同 3.8% 増の 115 百万円となった。温浴事業が客数減により減収減益となったものの、不動産賃貸事業や介護予防支援事業が稼働率の上昇により増収増益となった。

## 2. 2020 年 3 月期業績見通し

中期経営計画最終年度となる 2020 年 3 月期の連結業績は、売上高で前期比 1.8% 増の 25,000 百万円、営業利益で同 0.7% 減の 2,500 百万円と期初計画を据え置いている。通期計画に対する営業利益の進捗率は 50.3% と順調に推移しているが、研究開発や情報システム投資を継続していくこと、先行きの市場環境が不透明なことから据え置きとしている。下期についても、ファインケミカル事業では年末商戦に向けて TVCM を実施することで、製品の認知度向上に取り組み、また、美装化ニーズへの対応を更に加速させていく。一方、ポーラスマテリアル事業についても半導体市場が緩やかな回復に向かいつつあり、最先端品を中心に業績の回復が期待される。

## 3. 中期経営計画の進捗状況

2020 年 3 月期を最終年度とする中期経営計画では、経営環境の大きな変化を事業拡大のチャンスと捉え、将来の持続的な成長に向けた事業基盤を構築する期間と位置付け、各種施策に取り組んできた。ファインケミカル事業では、海外市場の開拓が欧州、アジア向けで進んでいるほか、国内では自動車美装の再定義による車内向け製品の拡充、業務用市場の開拓、TPMS の乗用車向けへの展開など当初の目標からはやや遅れているものの、徐々にその成果が表れ始めている。

また、ポーラスマテリアル事業では既存市場（半導体等ハイテク市場）だけでなく、新規市場（医療分野等）の育成を成長施策として取り組んでいる。具体的には、インフルエンザ検査キット内部の吸液材等での実績を基に、インフルエンザ以外の検査用（結核用、ウイルス検査等）に横展開し、将来的には部材提供から自社で完成品まで製造していくことを目標としており、既に一般医療機器（クラス I）製品の製造販売業許可も取得するなど、事業基盤の構築を進めている。

業績数値目標に関しては、投資期間との位置付けで保守的な計画を立てていたこともあり、達成できる見通しだ。2020 年 3 月期決算と同時期に発表見込みの次期中期経営計画では、2020 年 3 月期までに目標を達成できなかった施策についても継続して取り組んでいく方針となっており、新たな施策も含めてその内容が注目される。

## 4. 株主還元策

株主還元については、安定的な配当の継続を基本方針とし、目安としては営業利益の 20% としている。2020 年 3 月期の 1 株当たり配当金は前期比 1.0 円増配の 24.0 円を予定しており、配当性向で 28.6% の水準となる。

#### 免責事項（ディスクレマー）

株式会社フィスコ（以下「フィスコ」という）は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したものです。フィスコは本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性等について、いかなる保証をするものではありません。

本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品、有価証券その他の金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものでもありません。お客様が本レポートおよび本レポートに記載の情報をいかなる目的で使用する場合においても、お客様の判断と責任において使用するものであり、使用の結果として、お客様になんらかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、いかなる責任も負いません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受けて作成されていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。本レポートに記載された内容は、本レポート作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。フィスコは本レポートを更新する義務を負いません。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、フィスコに無断で本レポートおよびその複製物を修正・加工、複製、送信、配布等することは堅く禁じられています。

フィスコおよび関連会社ならびにそれらの取締役、役員、従業員は、本レポートに掲載されている金融商品または発行体の証券について、売買等の取引、保有を行っているまたは行う場合があります。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

#### ■お問い合わせ■

〒107-0062 東京都港区南青山 5-11-9

株式会社フィスコ

電話：03-5774-2443（情報配信部）

メールアドレス：support@fisco.co.jp